



2021年2月26日

各位

会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 荒川 隆治
(コード番号2784 東証一部)
問合せ先 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 根本 壮一
(TEL:03-5219-5102)

第一三共株式会社の長期収載品 11 製品の譲受に関する契約締結のお知らせ

当社の子会社で医薬品等製造事業を行うアルフレッサ ファーマ株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:島田浩一、以下「アルフレッサ ファーマ」といいます)と第一三共株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:眞鍋淳、以下「第一三共」といいます)は、第一三共が日本において製造販売している長期収載品 11 製品 19 品目(以下「本譲渡対象製品」といいます)の製造販売承認および資産等をアルフレッサ ファーマが譲り受けること(以下「本資産譲受」といいます)について合意し、資産等承継契約を締結しましたので、お知らせいたします。

本資産譲受の完了後、引き続き安定的に患者のみなさまへ製品をお届けできるよう、両社は協力して製造販売承認の円滑かつ効率的な移管を進めてまいります。

記

1. 本資産譲受の目的

アルフレッサグループは「2019-21 中期経営計画 さらなる成長への挑戦 ～健康とともに、地域とともに～」において、ヘルスケアコンソーシアムの具現化に向けた重点方針として、成長事業である医薬品等製造事業において「グループニーズに沿った製品の拡充」を掲げております。

アルフレッサ ファーマは、2018年7月、第一三共および同社の完全子会社である第一三共エスファ株式会社と長期収載品 41 製品 92 品目の譲受に関する資産等承継契約を締結し、製品ラインナップを拡充いたしました。これにより医薬品等製造事業の規模拡大だけでなく、アルフレッサグループの医療用医薬品等卸売事業などの他事業とのシナジーを発揮してまいりました。

今回の本資産譲受では、アルフレッサ ファーマは第一三共より本譲渡対象製品の国内販売権、製造販売承認、在庫、関連契約、商標権、著作権、安全性に係るデータを吸収分割および個別承継によって譲り受けます。これまでのように製品の品質維持・安定供給・安全性情報の収集活動に努めるとともに、製品ラインナップの拡充による既存製品とのシナジーを発揮することで医薬品等製造事業の強化を図ってまいります。

2. 本資産譲受の要旨

(1) 日程

| | |
|---------------|----------------|
| 資産等承継契約締結 | 2021年2月26日 |
| 吸収分割契約のクロージング | 2021年12月1日(予定) |
| 吸収分割の効力発生日 | 2021年12月1日(予定) |

(注1) 上記日程は、必要があるときには両社間協議の上、変更する場合があります。

(注2) 個別承継対象製品の譲受実施日につきましては、別途定める予定です。

(2) 本譲渡対象製品

吸収分割および個別承継によって承継される対象製品は、第一三共が日本における製造販売権を有し、製造販売している以下の長期収載品 11 製品 19 品目となります。

| No. | 製品名 | 剤形 | 薬効分類 | 備考 |
|-----|----------|---------|---------------------|----|
| 1 | エースコール | 錠剤 | 高血圧症用剤 | |
| 2 | エボザック | カプセル剤 | 口腔乾燥症状改善剤 | |
| 3 | オビソート | 注射剤 | 日本薬局方 注射用アセチルコリン塩化物 | ○ |
| 4 | ズファジラン | 錠剤剤、注射剤 | 脳・抹消血行動態改善剤、子宮鎮痙剤 | ○ |
| 5 | スロンノン | 注射剤 | 抗トロンビン剤 | |
| 6 | トポテシン | 注射剤 | 抗悪性腫瘍剤 | ○ |
| 7 | ナロキソン塩酸塩 | 注射剤 | 麻薬拮抗剤 | |
| 8 | ニドラン | 注射剤 | 抗悪性腫瘍薬 | |
| 9 | パナン | 錠剤、粉末剤 | 抗生物質製剤 | ○ |
| 10 | フシジンレオ | 軟膏剤 | 抗生物質製剤 | ○ |
| 11 | メレックス | 錠剤、粉末剤 | 抗不安剤 | |

(注) 備考欄の○は個別承継対象製品

(3) 本譲渡対象製品の経営成績

本譲渡対象製品の売上高合計は 4,599 百万円(2020 年 3 月期実績、仕切価ベース)となっております。

(4) 本譲渡対象製品における資産の項目

本譲渡対象製品として、本件に関する棚卸資産に加え、国内販売権、製造販売承認、商標権、著作権などの無形固定資産等を予定しております。生産設備などの有形固定資産は含まれておりません。

(5) 譲受価額

本資産譲受の対価は、4,700 百万円です(棚卸資産を含む、承継時の棚卸資産金額により調整予定)。

3. 当事会社の概要

(1)アルフレッサ ファーマ株式会社(2020年3月31日現在)

| | | |
|---|----------------------|--------------------------------|
| ① | 名 称 | アルフレッサ ファーマ株式会社 |
| ② | 所 在 地 | 大阪府大阪府中央区石町二丁目2番9号 |
| ③ | 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名 | 代表取締役社長 島田浩一 |
| ④ | 事 業 内 容 | 医薬品、診断薬、医療機器、医薬品原材料等の製造・輸出入・販売 |
| ⑤ | 資 本 金 | 1,000 百万円 |
| ⑥ | 設 立 年 月 日 | 1939 年 12 月 24 日 |
| ⑦ | 純 資 産 | 24,321 百万円 |
| ⑧ | 総 資 産 | 47,177 百万円 |
| ⑨ | 大株主および 持 株 比 率 | アルフレッサ ホールディングス株式会社 100% |

(2)第一三共株式会社(2020年3月31日現在)

| | | |
|---|----------------------|--|
| ① | 名 称 | 第一三共株式会社 |
| ② | 所 在 地 | 東京都中央区日本橋本町三丁目5番1号 |
| ③ | 代 表 者 の 役 職 ・ 氏 名 | 代表取締役社長 兼 CEO 眞鍋 淳 |
| ④ | 事 業 内 容 | 医薬品の研究開発、製造、販売等 |
| ⑤ | 資 本 金 | 50,000 百万円 |
| ⑥ | 設 立 年 月 日 | 2005 年 9 月 28 日 |
| ⑦ | 純 資 産 | 1,306,274 百万円 |
| ⑧ | 総 資 産 | 2,105,619 百万円 |
| ⑨ | 大株主および 持 株 比 率 | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) (10.42%) JP MORGAN CHASE BANK 385632 (10.00%) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) (8.52%) 日本生命保険相互会社 (5.52%) SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT(3.68%) みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社 (2.22%) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口 7) (2.09%) STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 (1.86%) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口 5) (1.80%) |

| | | | |
|---|------------|-----------------|---|
| | | 株式会社静岡銀行（1.76%） | |
| ⑩ | 当社と当該会社の関係 | 資本関係 | 第一三共が保有する当社株式の保有比率 3.03% 当社が保有する第一三共株式の保有比率 0.26% (みなし保有分を含む) |
| | | 人的関係 | 該当事項はありません。 |
| | | 取引関係 | 当社と第一三共の間には記載すべき取引関係はありません。なお、当社の子会社は第一三共製品の仕入・販売を行っており、2020年3月期の同社製品の売上高は166,926百万円です。 |
| | | 関連当事者への該当状況 | 該当事項はありません。 |

4. 今後の見通し

現時点において、本資産譲受による当社の2021年3月期の連結業績への影響は軽微であると予想しております。

以上